

「日本選手権で1勝」誓う

クラブ野球V マツゲン、県庁など訪問

社会人野球の第49回全日本クラブ選手権大会(毎日新聞社、日本野球連盟主催)で2連覇を果たしたマツゲン箕島硬式野球部(本拠地・有田市)の選手、スタッフが30日、和歌山市の県庁や毎日新聞和歌山支局を訪問した。

マツゲン箕島は県内唯一の社会人硬式野球チーム。同大会を制し、今秋の日本選手権へ2年連続8回目の切符を手にした。

県庁で西川忠宏監督が「目指してきた日本選手権出場を果たせた。次は大舞台でなん

とか1勝したい」とあいさつ。宮崎航大主将、山本夕陽副主将、最高殊勲選手賞の松村亮汰投手が顔をそろえ、日本選手権での活躍を誓った。

選手は全員、スーパーチェーン「松源」の社員として働きながら野球に取り組んでいる。出迎えた宮崎泉知事は選手の経歴や店舗での業務を興味深く尋ね、「ぜひ頑張ってください。今度は勝ってほしい」と期待を寄せた。

その後一行は毎日新聞和歌山支局を訪れ、鶴公貴支局長に連覇を報告。松村投手は「持

ち味の強いストレートをしっかり投げられた」と笑みを見せた。

日本選手権は28日、大阪市西区の京セラドーム大阪で開幕する。

【藤木俊治】



宮崎泉知事(手前)を表敬訪問した西川忠宏監督(右)ら
＝県庁で